

教科	国語科	学年	第1学年	担当者	森下 良子
----	-----	----	------	-----	-------

【教科目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

・教科書（「国語1」光村図書・「中学書写一年」）・ワーク ・文法ワーク ・漢字ワーク ・ノート ・習字道具

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	1 言葉に出会うために 野原はうたう（詩） 2 学びをひらく 花曇りの向こう（物語） わかりやすく説明しよう 3 新しい視点へ ダイコンは大きな根？（説明文） ちょっと立ち止まって（説明文） 情報の集め方を知ろう（情報）	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが伝わるように声に出して読む。 ・冒頭と結末に着目して、人物の変化を捉える。 ・観点を立てて情報を集め、整理する。 ・段落の役割に着目して読む。 ・文章の構成に着目して読む。 ・情報の集め方を知り、目的に応じた方法を考える。 	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク *文法ワーク (指示があった時のみ)
2 学 期	4 言葉をつなぐ 詩の世界（詩） 言葉を集めよう（言葉） 空を見上げて（随筆） 光る地平線（物語） 私が選んだこの一冊（読書活動） 5 つながりの中で 星の花が降るころに（物語） 大人にならなかつた弟たちに…（物語） シカの「落ち樹い」（記録） 調べたことを報告しよう（書く） 6 いこしえの心に触れる いろは歌（古文・音読） 月に思う（古文・音読） 蓬萊の玉の枝（古文） 今に生きる言葉（漢文） 本の世界を広げよう 書写	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴を捉え、描かれた情景を想像する。 ・言葉や表現を工夫して、紹介文を書く。 ・言葉について、自分の考えを深める。 ・作品を読み深め、印象に残った表現を発表する。 ・伝えたい内容に合わせて文章を引用し紹介する。 ・場面の展開に着目して、人物の変化を読み取る。 ・人物の行動や情景描写から心情を読み取る。 ・事実と意見の関係に注意して読む。 ・調べたことを正確に報告する。 ・古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・古典の作品と自分とのつながりを考える。 ・仮名遣いに注意して音読し、古典に読み慣れる。 ・漢文特有の言い回しに読み慣れる。 ・読書への興味を持つ。 ・楷書の点画の筆遣いを理解して書くことができる。 ・行書の特徴を理解し、紙面に美しく書くことができる。 	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク *文法ワーク *書写の教科書 *習字道具 (指示があった時のみ)
3 学 期	7 論点を捉えて 幻の魚は生きていた（説明） 話題や方向を捉えて話し合おう 根拠を明確にして魅力を伝えよう 竹（詩） 桜守三代（ノンフィクション） 8 自分を見つめて 少年の日の思い出（小説） 印象深く思いを伝えよう 1年間の学びを振り返ろう ぼくがここに（詩）	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の要旨を捉える。 ・話題や方向を捉えて話し合う。 ・根拠を明確にして伝える。 ・表現の特徴を捉え、音読する。 ・人物の生き方に触れ、自分の考えを深める。 ・語り手に着目して読む。 ・表現を工夫して印象深く伝える。 ・材料を集めながら自分の考えをまとめる。 ・言葉や表現について、作者の思いを想像しながら読む。 	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク *文法ワーク

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
評価の観点の趣旨	国語に関心を持ち、積極的に学習しようとしているか。主体的に授業に参加し、自分なりに考えを深めているか。	普段の授業中での話す力・聞く力。必要な情報をしっかり聞き取る力があるか。自分の意見を相手に分かりやすく話すことができるか。	自分の意見や考えを相手に伝えるように正しく書くことができるか。	文章の特色を理解しながら内容を正しく理解し、自らのものの見方や感じ方を深めることができるか。	漢字の読み書きや、豊かな語彙を身につけることができたか。文法を理解し、正しい日本語が使えるか。書写（文字を美しく正しく書く）
評価の方法	・授業中の様子・ノート ・提出物・忘れ物・発表	・授業中の様子 ・発表・スピーチ ・小テスト	・ワークシート ・読後の感想 ・作文・作品	・定期テスト ・発表・提出物	・定期テスト・小テスト ・発表・提出物

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

○授業規律を守りましょう。（あいさつ・私語・忘れ物）
○教科書をよく読みましょう。音読をして、漢字の読み方を覚えたり、分からない言葉の意味を調べたりして語彙を増やしましょう。
○授業には積極的に参加し、自分の意見や考えを持つようにしましょう。
○ノートはしっかりと取り、大事なことがすぐに分かるノート、自分の意見の書かれたノートにしましょう。
○他の人の意見をしっかりと聞いて、自分との共通点や相違点を見つけ、大事なことはノートにメモをする習慣を身につけましょう。
○宿題はきちんと行い、期限を守って提出しましょう。
○小テストやワークシートはファイルに綴じ、定期テスト前に見直しをしましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

○教科書を何度も音読しましょう。
○出された課題や宿題は計画的に行い、期限を守って提出しましょう。
○ワークは、丸つけ・直しを丁寧に、テスト前には必ず見直しをしましょう。
○自学のノートなどに、習った漢字や語句の練習を積極的行い、定着させましょう。
○家で読書（新聞・本）の時間を設け、活字に親しみましょう。

